



さいたま市の

シンポジウム 教育の未来を考える

さいたま市の教育環境はどうなっているでしょうか。学校や公民館など施設の老朽化、政令市で教員あたりの子どもの人数がもっとも多いなど、課題が山積みです。その一方で、市教育委員会は小学1年生から英語を教科化したり、多くの問題が指摘された小学校道徳教科書の採択をしてきました。

行政・教育委員会は教育環境をととのえる責任がありますが、役割を果たしていると言えるでしょうか。今度のシンポジウムではさいたま市の教育行政の課題を見すえ、これからのあり方をみなさんとごいっしょに考えたいと思います。ぜひご参加ください。

パネリスト

長澤 成次さん（千葉大学名誉教授）

「九条俳句訴訟と公民館の自由」について

芳賀 和夫さん（より良い教科書を求めるさいたま市民の会）
道徳教科書採択問題から考える

もりや 千津子さん（さいたま市議会議員）
さいたま市の教育の現状と課題について

コーディネーター

高田 美恵子さん（新日本婦人の会埼玉県本部副会長）

11/17^土 13:30 ~

ときわ会館 5F 大ホール

入場
無料

主催

日本共産党さいたま市議団

さいたま市浦和区常盤 6-4-4 さいたま市役所内

電話：048-829-1811